

泌尿器科

泌尿科：必須選択外科および選択研修（1ヶ月）

指導医：泌尿器科部長、指導医の資格のある医員

上級医：臨床経験が8年以上あるが指導医養成講習会未受講の泌尿器科医師、および臨床経験7年以下の泌尿器科医師

指導者：泌尿器科外来専従看護師

●一般目標（GIO）

地域医療の中心を担い全人的医療を行う医師を目指すために、全科にわたって必要な泌尿器診療に求められる基本的知識、臨床応用能力、態度を習得し各専門的医療に進むための基礎を築く。

●行動目標（SBOs）

- ・ 患者および家族との信頼関係を確立することができる。
- ・ 他職種を含めたチーム医療を理解しその中で上級医とともに医師としての役割を果たすことができる。
- ・ 問診、身体診察を含む非観血的診断スキルを身につけ総合的診断能力を養う。
- ・ 泌尿器科領域の救急医療にて求められる迅速な判断、対応を身につける。
- ・ 地域中核病院にて診療に従事する重要性を理解、自覚し地域チーム医療としての病院連携を図ることができる。

●方略

<病棟業務>

- ・ 担当患者の問診および身体所見をとり、指導医、上級医とともに検査計画、治療計画を立てる。
- ・ 担当患者の処置に付き添い、指導医、上級医のもとでできるだけ実践する。
- ・ 指導医、上級医とともに必要な生活指導を入院患者およびその家族に行い、診療内容・説明内容をカルテに記載する。
- ・ 担当患者に関わる書類(他院への診療情報提供書、入院証明書など)の作製を経験する。

<外来、病棟、手術業務>

- ・ 別記記載してある泌尿器科領域的研修内容を指導医、上級医とともに経験する。

<救急業務>

- ・ 担当患者の急変に対しては、指導医、上級医とともに直ちに対応する。但し時間外の急変については、業務過多にならないよう指導医、上級医とあらかじめ相談しておく。

<基本的検査手技および治療手技>

- ・ 後述する検査手技、治療手技を当初は見学からはじめ、慣れた頃に、指導医、上級医の指導のもと施行する。

<コンサルテーション>

- ・ 他の診療科からのコンサルテーションに対して、指導医、上級医とともに対応する。
- ・ 担当患者が他科受診する際には、指導医、上級医の指導のもとで院内紹介状を記載する。

<カンファレンス>

- ・ 毎週 1 回の症例カンファレンスに参加する。
- ・ 他職種カンファレンス（カンサーボードなど）にも参加する。

<研究会、学会、学術活動>

- ・ 研究会、学会に指導医、上級医とともに参加し必要に応じて発表する。

<週間スケジュール>

	月	火	水	木	金
8:30 ～	外来、病棟 (手術)	外来、病棟	外来、病棟	外来、病棟	外来研修 (手術)
12:30					
14:00 ～	手術	検査	手術	検査	手術
17:15					

●評価

- ・ 病院として定めた評価方法にて評価を行う。
- ・ 評価者は、指導医、指導者が行う。
- ・ 研修医からの評価も必ず施行する。

●参考資料

領域的研修内容

1. 泌尿器科における基本的診療法
 - 1) 問診
 - 2) 身体所見
2. 以下の検査法の適応とその結果を解釈できる。
 - 1) 尿検査
 - 2) 採血検査
 - 3) X線・CT（超音波）検査
 - a. 腎、尿管
 - b. 膀胱
 - c. 前立腺
3. 以下の検査法を実施することができる。
 - 1) 膀胱鏡検査
 - 2) 前立腺針生検
4. 泌尿器科処置、小手術を実施することができる。
 - 1) 導尿、尿道カテーテル留置
 - 2) 経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR-P、TUR-Bt）

- 3) 尿路結石破碎術 (TUL、ESWL、PNL など)
 - 4) 前立腺癌小線源治療
 - 5) 経皮的腎瘻造設術、尿管ステント留置術 (交換も含む)
5. 泌尿器科主治医として外来、入院患者に対し全身的、局所的管理が適切に行なえる。